

ソルコンフェスティバル in Kyoto 2022 開催報告書



医療法人八田内科医院

ソルコンフェスティバル in Kyoto 2022 実行委員会 委員長

八田 告

2022年11月にソルコンフェスティバル in Kyoto 2022を開催しました。本イベントは、11/13今日はいい塩梅(マーケット、リアル開催)、11/19市民公開講座(オンライン開催)、11/24フォーラム(オンライン開催)の3部作からなり、すべて滞りなく開催することができました。この場を借りてすべての関係者の皆様に感謝申し上げます。

11/13の「今日はいい塩梅」は、たのしく、心地よく、ほどよい、現代の食と暮らしの“いい塩梅”を考えるマーケット。会場には、丁寧につくられたいい塩梅の食事やお菓子、暮らしを豊かにしてくれる器や植物が並び、心地よいアイルランドミュージックの生演奏が流れました。大人エリアのワークショップでは、K摂取の大切さを提供するために、京都ならではの抹茶や抹茶を振舞いました。子どもエリアでは、「ソルト博士に挑戦」と題したスタンプラリーを開催し、塩にまつわるクイズやカクレジオを探すなど、遊び心満載のイベントを開催しました。当日は、あいにくの雨により途中で中止となってしまいましたが、約2時間半の間に1,500人以上の方に来場いただき、子どもたちも熱心にスタンプラリーに参加してくれました。ソルト博士から名前の入った終了証を授与され、ご褒美のクッキーをもらい、最高の笑顔を見せてくれました。食育の大切さを思い知った瞬間でした。来場者アンケート(無作為、回答数70名)では、「お塩に対する興味関心が高まった」方が、95.7%と大変好評でした。

11/19の市民公開講座は、Zoom Webinarを使った、会場を設けない形でオンライン開催しました。一般の方から30個を超える大変多くの事前質問が寄せられ、高血圧協会理事長の楽木宏実先生が、丁寧に回答されながらの講演となりました。事後アンケートでも「血圧測定に関する誤解が解けた、血圧測定の大切さを実感することができた」など、大変好評でした。パネルディスカッションは、「ここまで進んだ血圧テクノロジー」と題して、岸拓弥先生、中神啓徳先生の司会の元、高血圧治療補助アプリを開発された株式会社CureAppの佐竹晃太氏や血圧管理アプリを開発された株式会社Welbyの比木武氏が、それぞれのアプリを紹介されました。視聴者アンケートでは、「最新の高血圧診療のテクノロジーをお聞きできたことが良かった」、「保険診療の範囲で利用可能なアプリがあること知って有意義であった」などの声が聴かれ、大変好評でした。200名以上の方にご参加いただきました。

最後に、11/24にフォーラムをオンライン開催しました。これは、一般の方よりも、主に産官学の関係者を対象とし、約200名の方にご参加いただきました。テーマは、「最先端の科学が導くESGと食の未来」。ESG(環境: E、社会: S、ガバナンス: G)が求められる現代社会、食の分野でも、人々をWELL-beingへと導くための商品・サービスの提供が益々重要となっています。しかし「何を提供することがWELL-beingにつながるのか？」ということに対して、多くの方が悩んでいるのも事実だと思います。そこで今回は、医学界の著名な研究者や、すでに数々の取り組みを行っている企業・団体の方から「WELL-beingのために、いま取り組むべきこと」について広くお話しして頂く機会としました。門川大作京都市長からのビデオメッセージから始まり、ESGに関するキーノートスピーチ、楽木宏実先生の司会の元、京都府立医科大学 樽野陽幸教授に、最先端の味覚研究に関する特別講演をして頂きました。パネルディスカッションを3つ開催、産官学連携としての取り組み、企業や食育に関する最新の取り組みなどを紹介していただき、大勢の方に視聴して頂きました。次世代に繋ぐ、そして元気で健康な日本の

ために、このフォーラムが、日本の食塩消費量を考えた食文化の切り替えスイッチのようなものになれば、主催者として大変嬉しく思います。なお、このフォーラムはオンデマンド配信も行いました。

日下先生が、2012年に呉で減塩サミットを開催されて10年目という節目の年に開催できたことに強い縁を感じます。減塩活動に大変経験豊富な日下先生、土橋先生の両副委員長の大きく温かい支え、そして高血圧学会や高血圧協会の関係者の皆様の大変温かい協力もこのフェスティバルの成功の鍵になったことを申し添えたいと思います。

今回のイベント名は、ソルコンフェスティバルとしました。減塩という言葉は、マイナスイメージが強く、日下美穂先生が提唱されているソルコンという言葉を採用しました。ソルコンとは、ソルトコンシャス、ソルトコントロールを意味します。今回のイベントを通じて、健康関心層ではなく、健康無関心層にも振り向いてもらうようなイベント作りの大切さを学びました。今回のフェスティバルから学んだ数々の事を活かし、これからの啓発イベントの在り方について今後も考えていきたいと思っています。

最後になりますが、この3部作に関わって頂いた全ての関係者の皆様に深謝申し上げます。

WEBサイト

全体：<https://www.jscsa.org/scf>

今日はいい塩梅：<https://www.salm.fun/>

市民公開講座：<https://www.jscsa.org/scf-pl>

フォーラム：<https://www.jscsa.org/scf-f>

■今日はいい塩梅



ポスター



雨にも関わらず大勢の方にお越しいただきました。



アイリッシュパーティー生演奏の様子。





スタンプラリーは大盛況で、準備した景品が2時間でなくなっていました。お子さん達のひたむきな姿勢に癒されました。ボランティアの京都文教短大の学生さんの笑顔が最高でした！







出展頂いた京都市様、京都府様(京おばんざい弁当)、京都府栄養士会様、京都府薬剤師会様、オムロンヘルスケア様、ニッコーマンニュートリケア様、大塚食品様、京都生協様、大和学園様、京都府健康福祉課、京都府宇治市様、救護ブースを守って頂いた京都府看護協会様、全ての関係者の皆様に御礼申し上げます。



根本さん、小瀧さん、藤枝さんはじめ、事務局の皆様方には、無関心層への啓発イベントの在り方、アプローチの仕方などを教えて頂きました。緻密な調整をして頂いたお陰で、今回の『今日はいい塩梅』が成功したことは、いうまでもありません。この場を借りて深謝申し上げます。



実地医家部会からは、日下先生、柘植先生、小林先生、水田先生、小園先生、松本先生、事務局の大久保様が現地に駆けつけてくださいました。



飲食の販売テントでは、カクレジオ (Hidden Salt) の見える化にも取り組みました。





京都の人気店が、趣旨に賛同して下さり、多数、出店して下さいました。

■市民公開講座

ソルコンフェスティバル
in Kyoto 2022
- 市民公開講座 -

Digital Healthが 高血圧治療を変える

最先端の高血圧治療に迫る
"Digital Hypertension" 16:00~18:00 **ONLINE 11.19** 土

最先端の高血圧治療を大公開！

医療 DX の中、いま最も注目されている領域のひとつ「Digital Hypertension」。この領域の最先端の知見を掘るべく、有識者の講演と、ベンチャー企業を交えたパネルディスカッションを行う。

基調講演 「最新テクノロジーがあなたを救う」

基調講演者
 藤木 宏実 先生 八田 啓 先生
 文京大学大学院 医学系研究科 教授 八田内科クリニック 院長

パネルディスカッション 「ここまで進んだ血圧テクノロジー」

モデレーター
 岸 拓弥 先生 中神 啓徳 先生
 国際医療福祉大学大学院 教授 大阪大学大学院 教授

パネリスト
 佐竹 晃太 先生 比木 武兵衛 先生
 (株) iConApp 代表取締役 (株) iMedy 代表取締役

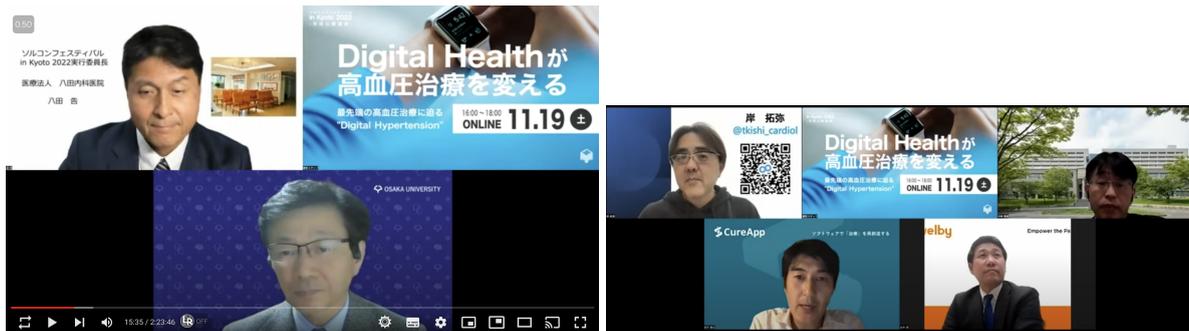
進行・挨拶

司会進行 勝谷 友宏 先生 日下 美穂 先生 上橋 卓也 先生
 勝谷医師 院長 日下医師 院長 医師 院長

お申し込みはコチラ(無料) >>>

主催 市民公開講座
 <共催> 特定非営利活動法人日本高血圧学会、公益財団法人日本心臓財団
 <協賛> ソルコンフェスティバル in Kyoto 2022 実行委員会
 <後援> 特定非営利活動法人日本高血圧学会、公益財団法人日本脳卒中協会、オムロンヘルスケア株式会社
 企画・実行事務局 一般社団法人日本高血圧学会 印刷: i-Print 印刷: i-Print

ポスター



楽木先生から、Digital Healthについての基調講演をいただきました。
 パネルディスカッションでは、ベンチャー企業2社の取り組みをご紹介いただきました。



開会挨拶を日下先生に、閉会挨拶では、土橋先生にご挨拶いただきました。
 また総司会を、勝谷先生にお願いしました。

■フォーラム

ソルコンフェスティバル in Kyoto 2022 -フォーラム-

Protein Unsaturated Fatty Acids Lipid Carbohydrate Calcium

最先端の科学が導く ESG と食の未来

詳細はこちら 

12:00 - 17:00 **11.24 THU**
オンライン開催
視聴料 ¥3,000

12:05-12:10
Opening
京都から、食の未来を考える
 門川 大作 京都府長

12:15-12:35
Keynote Speech
ESG が求められるなか、食ビジネスはどうあるべきか？
 夫馬 賢治 ニュラル ESG

12:40-13:40
Panel Session 1
最先端の科学が導く「ESG と食の未来」
 野田 幸一 先鋒大学
 山本 真美 国立健康・栄養研究所
 山手 久江 厚生労働省
 三浦 寛之 滋賀医科大学
 土橋 卓也 製鉄北九州病院

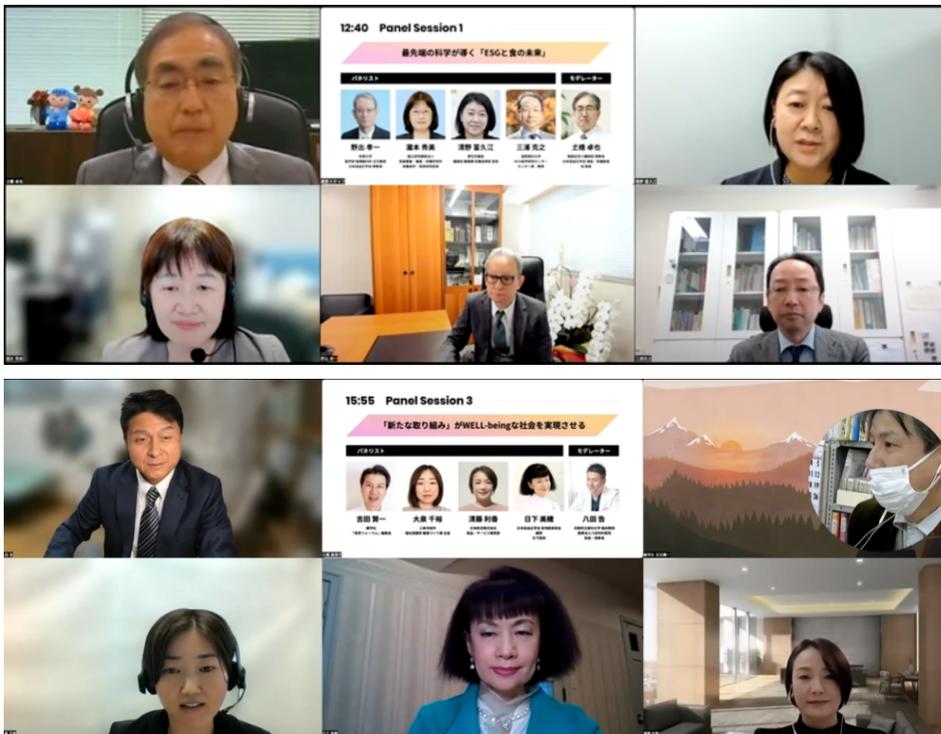
13:45-14:45 特別講演
フードテック最前線！世界中から熱い視線を集める「最新の味覚研究」とは？
 神野 瑞幸 京都府立医科大学大学院
 高木 宏実 大阪大学大学院

14:50-15:50
Panel Session 2
ESG 時代、企業価値に結びつく新商品開発とは？
 山崎 寿之 味の素株式会社
 五嶋 亜子 キューコム株式会社
 塚本 雅博 大塚食品株式会社
 塚本 雅博 株式会社エスケア

15:55-16:55
Panel Session 3
「新たな取り組み」がWELL-beingな社会を実現させる
 吉田 賢一 一般社
 大森 千裕 三島ホールディングス
 清藤 利香 日本製菓株式会社
 日下 美穂 日下食品
 八田 啓 八田餅屋株式会社

<主催> ソルコンフェスティバル in Kyoto 2022 実行委員会
<協賛> 滋賀県、滋賀県立大学、滋賀県立医科大学、滋賀県立看護大学、一般社団法人日本製菓協会、NPO 法人日本製菓協会、一般社団法人日本製菓協会、一般社団法人日本製菓協会
企画・運営事務局 一般社団法人日本製菓協会 事務局 075-921-1111 info@jpcac.org 担当 松本 啓太

ポスター



令和の減塩戦略を考えるべく、産学官のキープレイヤーが一堂に会しました。